仕様書番号	営５－３９
作成年月日	令和５年１０月２５日
作成責任者	業務隊管理科 防衛技官　宮本　憲成

２４号建物他貯湯槽改修工事

図面番号	図面名称
1 ／ 5	仕様書
2 ／ 5	案内図、配置図
3 ／ 5	平面図、立面図、詳細図
4 ／ 5	平面図、立面図、詳細図
5 ／ 5	機器情報一覧表

1　工事件名

２４号建物他貯湯槽改修工事

2　施工場所

長野県松本市高宮西１－１　　陸上自衛隊松本駐屯地

3　概　　要

貯湯槽加熱コイルのステンレス化　２箇所

4　一般事項

(1)　本仕様書は、２４号建物他貯湯槽改修工事について適用する。

(2)　本工事は、本仕様書による他、国土交通省制定の公共建築工事標準仕様書等を準拠するものとする。

(3)　本仕様の施工に関して、十分な知識、経験及び技術を有し、かつ施工を完全に遂行できるものとする。

(4)　特記なき限り、本件に使用する材料はすべて新品とし、監督職員の検査を受けて合格したものを使用する。

(5)　現場の安全衛生に関する管理は、現場代理人が責任者となり関連法令を厳守し行う。現場代理人は、作業の工程ごとに安全に対する検討を行い、必要な措置を講じる等安全管理を徹底させる。

(6)　着工に先立ち、監督職員と協議のうえ計画工程表を作成し提出するほか、監督職員に示される着工届、現場代理人指名通知書等の書類を速やかに提出する。

(7)　工事写真は、施工前・施工中・施工後、隠ぺいとなる箇所、材料及び監督職員が指示するものを工事用アルバム（Ａ４縦型）に整理のうえ提出する。

(8)　図面と仕様書の内容に相違又は明示無き場合若しくは疑いを生じた場合は、監督職員と協議のうえ内容を確認する。

(9)　本仕様書及び設計図書に記載なき事項といえども技術上当然必要とする事項については、請負者の負担において実施すること。

(10)　請負者は、工事に際して駐屯地等内での行動は、監督職員の指示に従うとともに、施工地域以外への立入りは行わない。

(11)　請負者は、本工事に関する事柄について、その内容が流出しないよう処置を講ずる。

(12)　既存施設、設備等の保護には十分注意し、損傷等させた場合は請負者の負担において早期に補修し、原形に復旧する。

(13)　事故発生時には、速やかに監督職員に報告する。

(14)　本工事に必要な電気、水等は請負者において負担する。但し、機器の試運転調整等での運転に必要な電気等の使用については、その限りではない。

(15)　撤去等により発生した金属類発生材（鉄くず）については、監督職員の指示する場所へ搬入するとともに、発生材調書を提出する。その他発生材は、請負者の負担において、関係法令の定めに従い適正に処理するものとする。

(16)　工事請負者は「国等による環境物品等の調達等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に示された基準に適合した作業を行うこと。

5　特記事項

(1)　機械設備工事

ア　改修する貯湯槽の型式及び能力等は機器情報一覧表のとおりとする。

イ　加熱コイル撤去新設

(ｱ)　新設加熱コイルの材質はステンレス製(SUS304)とする。

(ｲ)　新設加熱コイルの材質を除く部分の仕様は、既存加熱コイルと同等とする。

(ｳ)　撤去新設に伴い、取り外す管板等は再利用とする。

(ｴ)　新設に伴いパッキン等を交換すること。

(ｵ)　新設後、監督官の立会のもとに耐圧試験を行うこと。

(2)　その他

ア　本工事により貯湯槽が使用不可となるため、作業は短期間で実施すること。

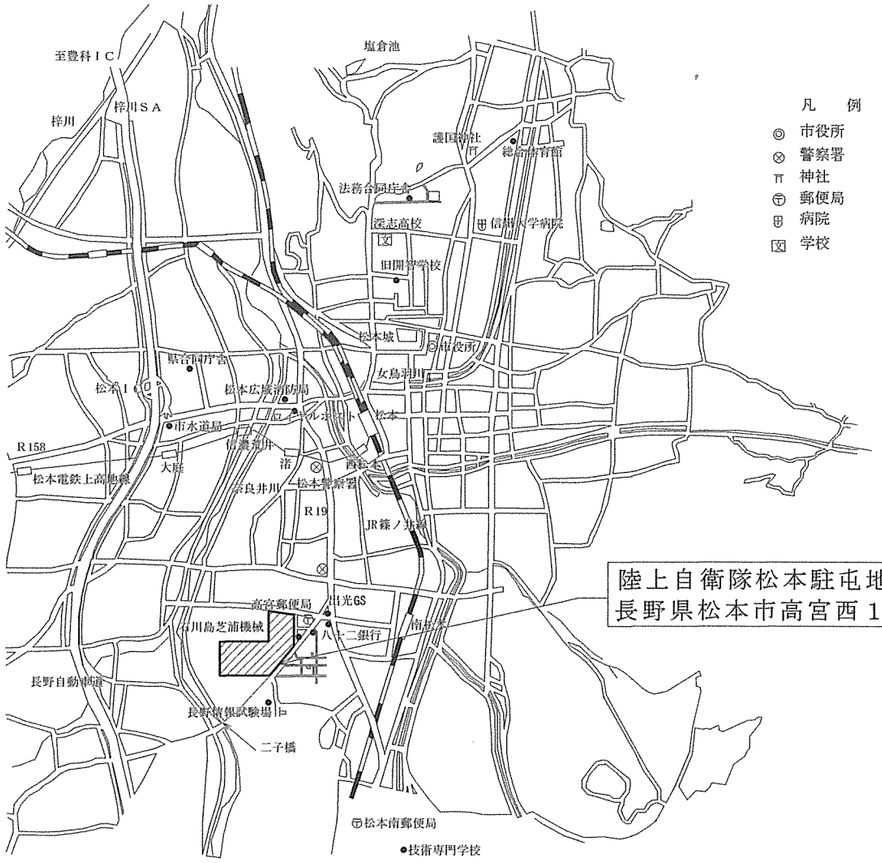
イ　施工中及び耐圧試験中等に仕様書に明記のない部品交換が必要な場合には、機能回復等の修理見積書を提出する。なお、軽微な補修及び消耗品の交換で機能回復できるものは実施すること。

ウ　当該工事に必要な雑材料は、全て請負業者の負担とする。

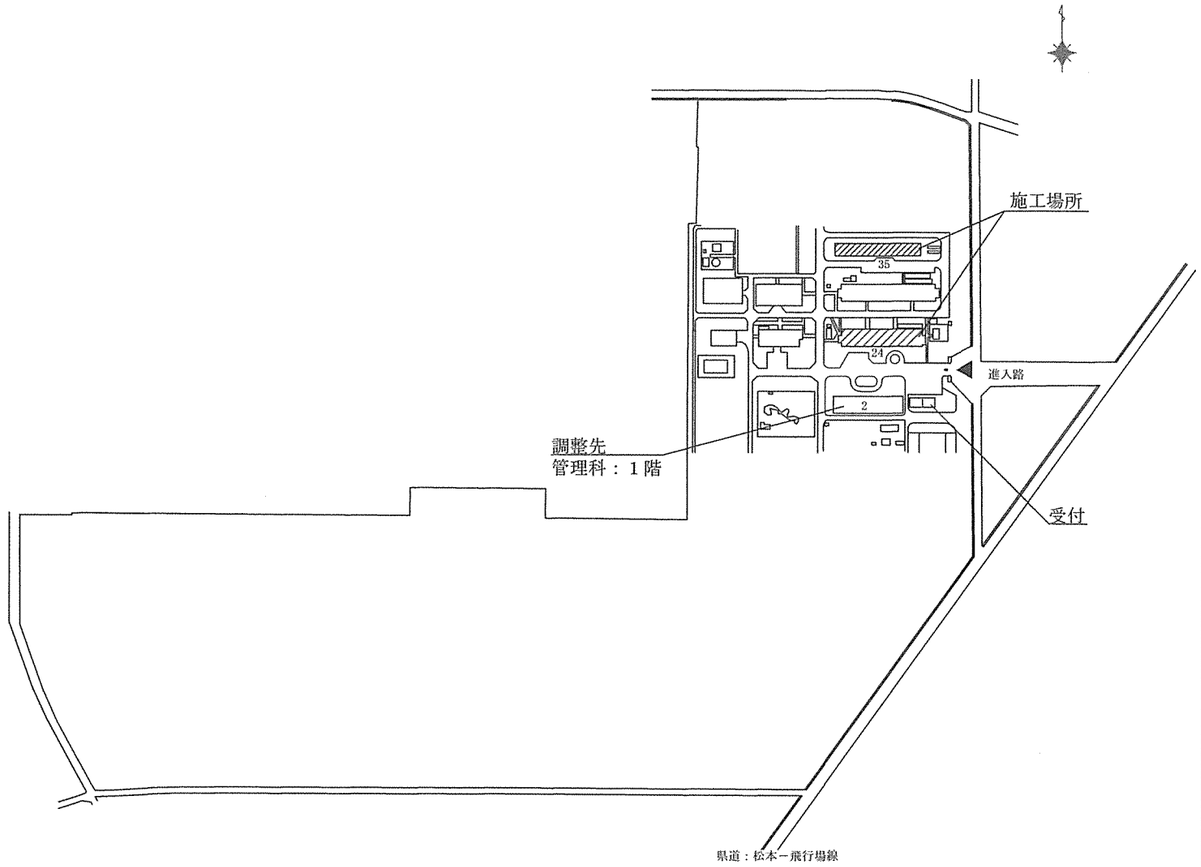
エ　耐圧試験証明書及び、鋼材検査証明書を監督官へ提出すること。

オ　竣工検査合格後、当該工事での新規部品及び施工上の欠陥によるとみられる不具合の発生について請負者は、１年間その責を負うものとする。

工事件名	２４号建物他貯湯槽改修工事		
図面種別	仕　様　書		
縮　　尺	図　示	図面番号	１／５
松本駐屯地業務隊管理科		令和５年１０月２５日	

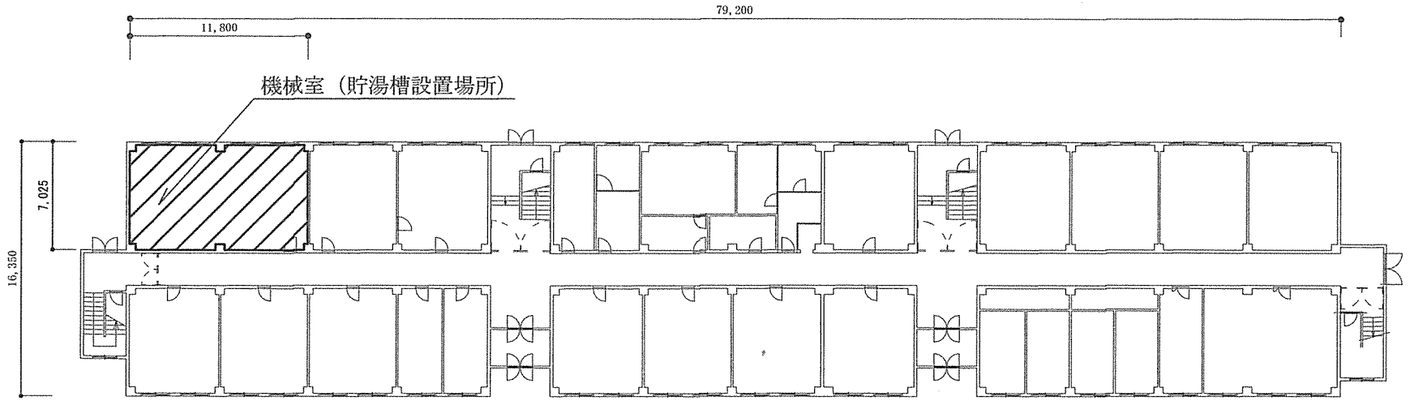


松本駐屯地案内図　S=1/50,000

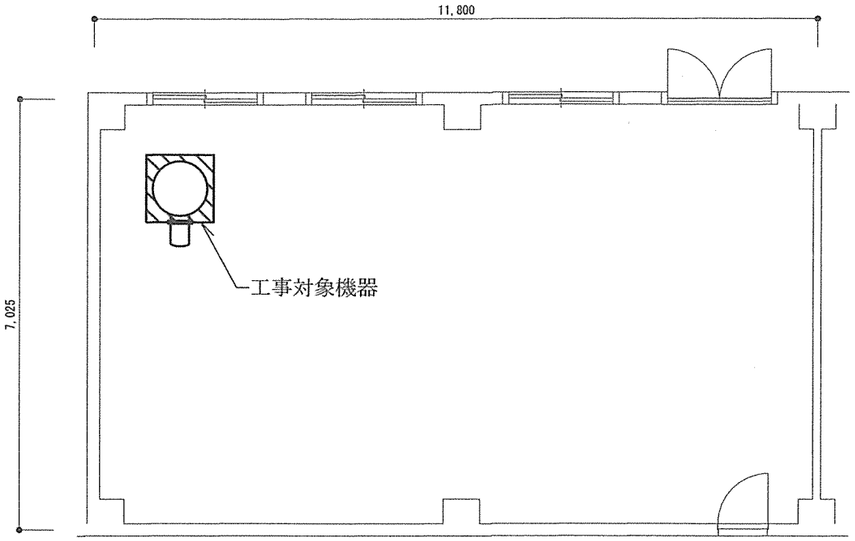


松本駐屯地配置図　S=1/6,000

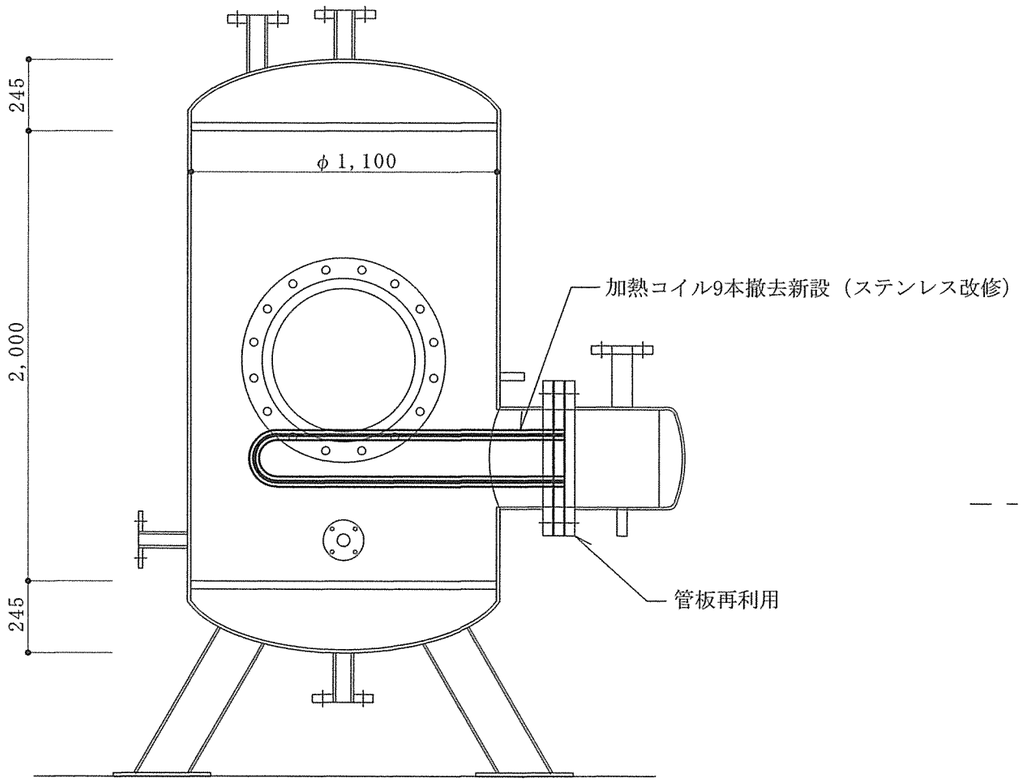
工事件名	２４号建物他貯湯槽改修工事		
図面種別	案内図、配置図		
縮　尺	図　示	図面番号	２／５
松本駐屯地業務隊管理科		令和５年１０月２５日	



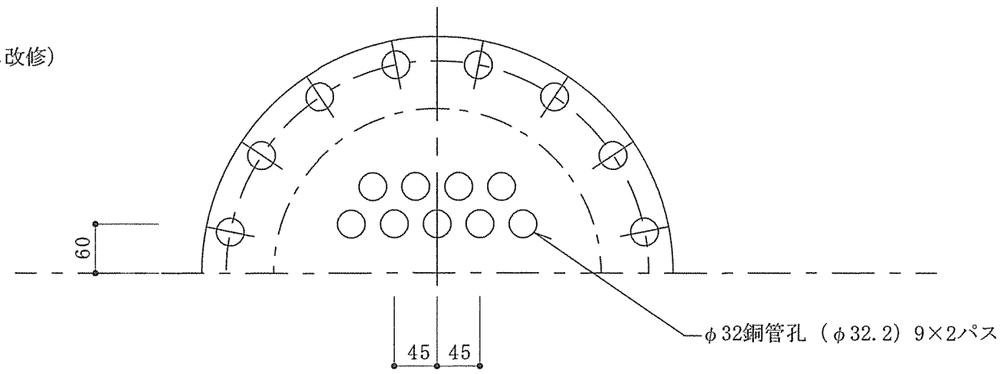
24号建物平面図 S＝1/400



24号建物機械室平面図 S＝1/100

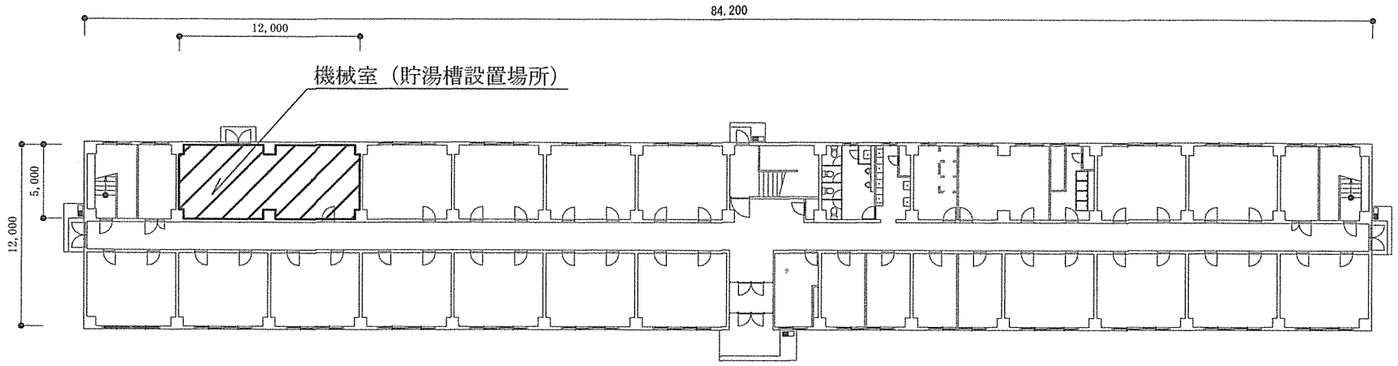


貯湯槽立面図 S=1/N

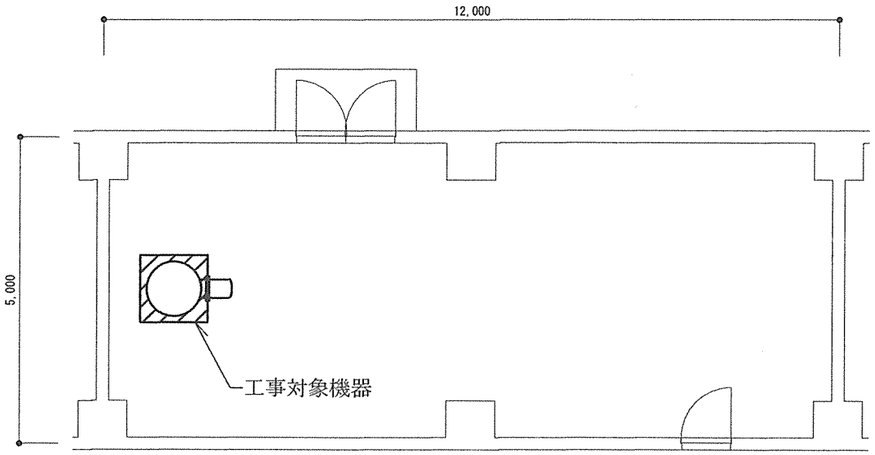


管板・コイル配列詳細図 S=1/N

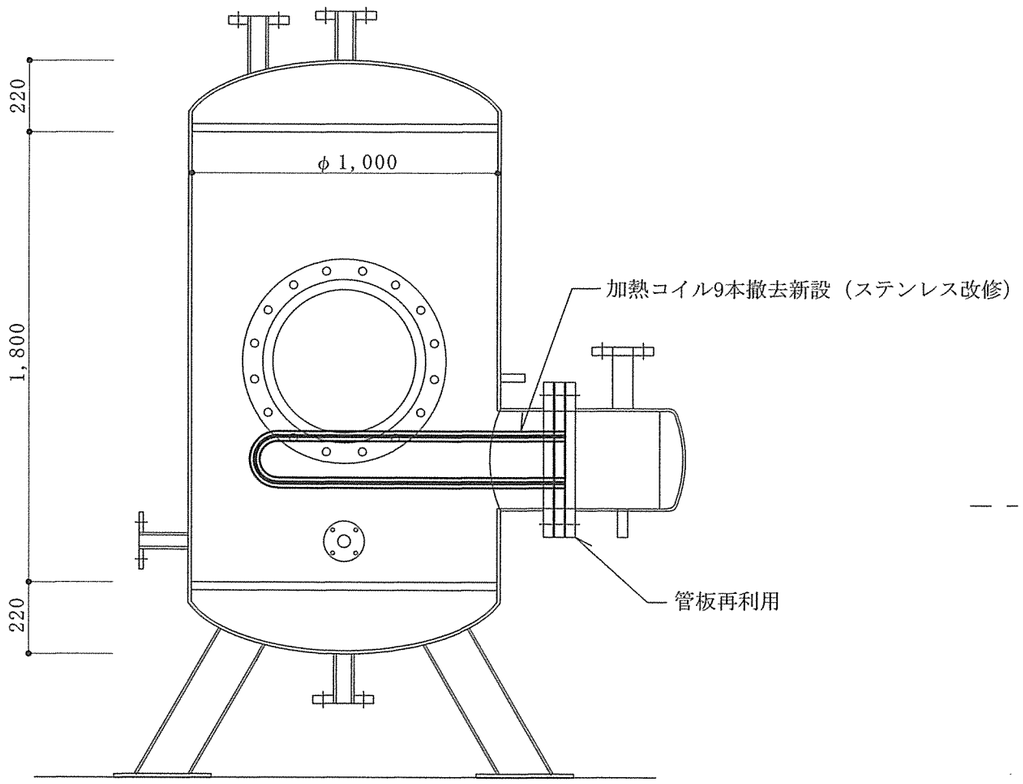
工事件名	２４号建物他貯湯槽改修工事		
図面種別	平面図、立面図、詳細図		
縮　尺	図　示	図面番号	３／５
松本駐屯地業務隊管理科		令和５年１０月２５日	



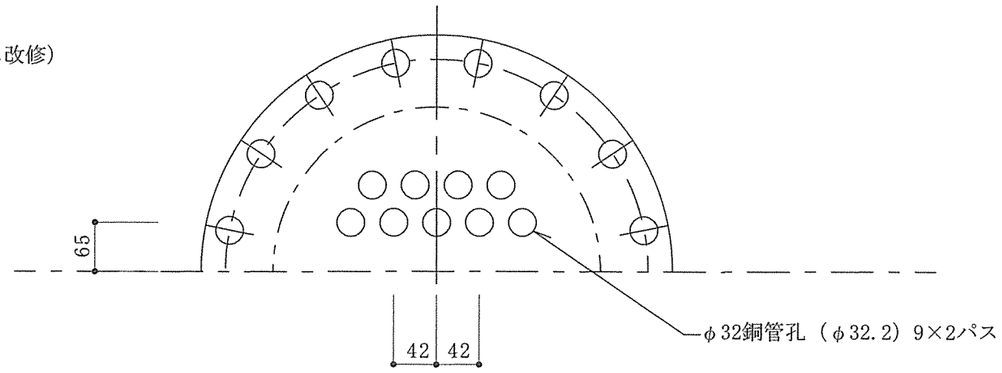
35号建物平面図 S＝1/400



35号建物機械室平面図 S＝1/100



貯湯槽立面図 S=1/N



管板・コイル配列詳細図 S=1/N

工事件名	２４号建物他貯湯槽改修工事		
図面種別	平面図、立面図、詳細図		
縮　尺	図　示	図面番号	４／５
松本駐屯地業務隊管理科		令和５年１０月２５日	

２４号建物機器情報一覧表

製造者・製造年月		（株）田中工業・平成８年８月
種類		液体加熱器（貯湯槽）
型式		立型円筒形多管式第１種圧力容器
寸法		φ１，１００×２，０００Ｈ
交換熱量		１１０，０００Ｋｃａｌ／Ｈ
最高使用圧力		温水側：５．０ｋｇ／ｃｍ２ 熱源側：５．０ｋｇ／ｃｍ２
最高使用温度		１５８．０８℃
胴	材料	被加熱側：SS400+SUS304L クラッド鋼 熱源側：ＳＧＰ－Ｅ
	最大内径	１，１００㎜
	板の厚さ	被加熱側：８．０㎜ 熱源側：６．９㎜
加熱コイル		銅管 ＪＩＳ Ｈ３３００ Ｃ１２２０Ｔ φ３２×２ｔ×１７．６ｍ
鏡板	材料	被加熱側：SS400+SUS304L クラッド鋼 熱源側：ＳＳ４００
	形状	被加熱側：皿形 熱源側：皿形
	すみの丸みの内半径	被加熱側：１１０㎜ 熱源側：３１㎜
	板の厚さ	被加熱側：８．０㎜ 熱源側：６．０㎜
蓋板 管板	材料	ＳＵＳＦ３０４
	形状	平形
	板の厚さ	２４．０㎜

３５号建物機器情報一覧表

製造者・製造年月		小澤工業（株）・平成１０年１１月
種類		液体加熱器（貯湯槽）
型式		立型円筒形多管式第１種圧力容器
寸法		φ１，０００×１，８００Ｈ
交換熱量		８２，５００Ｋｃａｌ／Ｈ
最高使用圧力		温水側：５．０ｋｇ／ｃｍ２ 熱源側：５．０ｋｇ／ｃｍ２
最高使用温度		１５８．０８℃
胴	材料	被加熱側：ＳＵＳ４４４ 熱源側：ＳＴＰＧ３７０－Ｓ
	最大内径	１，０００㎜
	板の厚さ	被加熱側：６．０㎜ 熱源側：８．４㎜
加熱コイル		銅管 ＪＩＳ Ｈ３３００ Ｃ１２２０Ｔ φ３２×２ｔ×１３．２ｍ
鏡板	材料	被加熱側：ＳＵＳ４４４ 熱源側：ＳＳ４００
	形状	被加熱側：皿形 熱源側：皿形
	すみの丸みの内半径	被加熱側：１００㎜ 熱源側：３０㎜
	板の厚さ	被加熱側：６．０㎜ 熱源側：９．０㎜
蓋板 管板	材料	ＳＵＳＦ３０４
	形状	平形
	板の厚さ	２４．０㎜

工事件名	２４号建物他貯湯槽改修工事		
図面種別	機器情報一覧表		
縮　尺	図　示	図面番号	５／５
松本駐屯地業務隊管理科		令和５年１０月２５日	